



八期オンライン通信第68号(12月) 2022年12月1~12月31日

◎お知らせ・・・2023年より、タイトルを「八期オンライン日記」に変えようと思いますが??

12月の巻頭文

先祖の墓参(徳之島へ)

南郷善之助(2組)



30年ぶりに奄美大島の徳之島に先祖のお墓参りに行って来ました。僕にとって、先祖の母方と父方のお墓参りをするのは大きさではなく、人生最後の目標でもありました。

僕の先祖は祖父母迄は徳之島に住んでいたの、現在では、親戚も僕らの代では少なくなっています。

おそらく今回が最後になると思うので女房と娘と(初めて)三人での御参りを果たしてきました。

家族で徳之島を訪問することが出来て本当に嬉しかったです。

12月1日、空港に着いたら真っ先に念願の地、先祖の墓地へ向かいました。

まずは母方のお墓参りをしました。

その後、叔母の御宅でお昼をご馳走になりながら自分のルーツを聞かせてもらいました。

いやあ、びっくりしましたね。琉球王朝時代に徳之島に派遣された事が系図にはっきりと載っていました。つまり、私達の先祖は琉球から奄美に派遣された役人だったのです。

別な親戚の御宅でも、見せてもらった系図に同じものが載っていました。

その事がわかるのはお墓に行くと良く解りました。

まずお墓の作り方は琉球(今の沖縄本島)のお墓に良く似ていますね。

先祖のお墓にお参りする際の作法は、墓前で靴や履き物などを脱いで、スリッパに履き替え、墓地内に入って、砂利を敷き詰めた前で御参りをします。

すべては、お墓を中心地にして周りに親戚の家があります。



そして、何か(寄合などが)ある時は、親族郎党、お墓に集まって、そこが集会場になるようです。

つまり、お墓は徳之島の人々にとっては自宅の一部とっているようです。

一族と一緒に共同で、冠婚葬祭はいつでも敷地内にある集会場で行うみたいです。

ところで、叔母の御宅は明治時代に建てられ現在徳之島で一軒だけ残っている家💖だそうです。

鹿児島県の文化遺産になっているとのことでびっくりしました。

叔母の御宅から父方のお墓参りをして初日三カ所のお墓参りが終わりました、



このような形態の墓地は徳之島では我が一族のお墓だけだそうで、他にはないそうです。
そのような貴重な遺産が自分のルーツ(ご先祖様)だと知ったことは以外でもあり、とても誇らしいことでもありました。

自分たちのルーツを知るための旅でしたが、今回の旅で、一番感動したことは意外なことでした。
それは、初めて先祖のお墓参りをした娘が、いきなり私の側に来て「お父さん！！ここに立っていると、すごく、心の安らぎを感じるの・・・何でだろうかネ」と言った。

その、ひと言が娘を連れて来て本当に良かったと思った。
僕も初めて先祖のお墓参りしたとき、なんとも言えない、こころの安らぎを感じた記憶があったので、血が騒ぐとは良く言ったものだと思うことでした。

『ご先祖のお墓参り』という念願がやっと叶った2022年でした。
80歳を過ぎてから若い現役時代の仕事の付けが回って来て肺臓の機能が普通の人の3分の2くらいしか働かない難病指定をされてしまった。

すぐにどうということはないようだけど、長く歩くと呼吸が困難になり、時には携帯用の酸素吸入器のお世話になっている。



そろそろ長かったコロナ騒ぎも収まって来そうな世の中の空気を感じるこの頃です。
来年の様子次第だけど、出来ればぼくの第二の願い『わが青春の東京をめぐる』たっぷり旅を夢見ている。
「会いたい人に会い、訪れたい懐かしいスポットを廻りたい・・・」
想うだけでも、我が青春時代の血が騒ぐのを感じます！！

善之助 2022・12 月



徳之島のお食事(芭蕉の葉が珍しい)



納骨堂も立派な建物



奥の右にちょっと見えるモニュメントは??

●感想:

思い切っていいことをしましたね。
お互いにこの歳になると、先祖のいろいろなことを知りたくなり系図を作ったりしますね。
幸いにも南郷くんの家系は由緒ある一族で、徳之島以前は琉球をルーツにするものだという事までわかっていて、系図まであるとはいいいですね。奥さんも娘さんも喜ばれてほんとに良かった。

隈元達雄

特別寄稿



【徳之島に咲く特攻花】

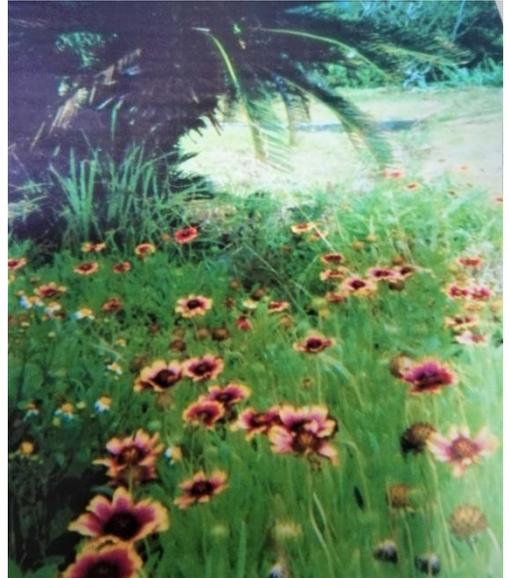
徳之島には毎年5月から6月にかけて、**特攻花**と呼ばれる花が咲きます。

その花の名前の謂われについて少し話してみたいと思います。特攻隊の出撃基地として知覧が良く知られていますが、徳之島から飛び立った特攻機の事は余り知られておりません。

昭和 18 年から 19 年にかけて、徳之島の浅間と言う所に飛行場が作られました。

毎日二千数百人の人夫が出て突貫工事で完成させました。

19 年 10 月 10 日に空襲される迄の 2 か月間、特攻隊の基地として使われ知覧を飛びたった特攻機は夕方から夜の 10 時に浅間飛行場に到着します。



一晩泊まって良く翌日未明に沖縄の海に飛び立ったそうです。

島の人達は機影がみえなくなるまで手を振り身送りました。

ある兵士が別れの際に飛行機の上から、花の種をまき、翼を上下に振りながら南の空に消えて行った。

20 年の春  種が芽をふき 5 月に綺麗な花が咲きました。

それは、それまで観たことのない花でした。

娘が摘んで家に帰ると、大人達は兵隊さんの供養の花だからと言って摘んではいけないと言いました。

誰言う都もなくその花は、皆に特攻花と呼ばれるようになったそうです。

そして現在も、その花は、毎年島のどこかで見る事が出来ます。

島の歴史資料館には兵士が書き残した最期の言葉が保管されています。

咲いてサクラとよばれるよりも

散ってサクラと呼ばれたい

ある特攻兵士の最期の言葉です。

今でも島の人達は花の本当の名を知らないそうでいつまでたっても特攻花だそうです。

親戚の話では、今ではほとんどの人々が特攻花の事を知らない人が多い。

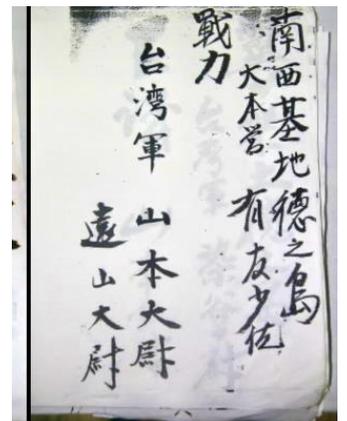
……風化させてはならないと言っていました。

ネットで徳之島の「特攻花」で検索してみました。いっぱい出てきましたね。

名前は「テンニンギク」が正解でした。漢字で書くと「天人菊」です。

その名の通り、勇ましく、沖縄の空に散り、「天の人」になった若き特攻隊員にふさわしい

そんな、名前ではありませんか？



●おはようございます



12月最初の朝です

あっという間の12月

今朝は少し早く目が覚め大石さんがまとめてくれた八期オンライン通信 67号に目を通しました堀田さんのエッセイ、出来事には強く記憶に残るものとそうでないものがあるのは不思議な感じがします。古市さん、名山が大龍から分かれたのは3年の頃であったと思います。長い列の間を名山へ別れて行く人たちを見送りましたが、長田で一緒になりました。

木場さん、邪馬台国は北九州にあったようです。大陸からの早くからの渡来人が住み、後れて鹿児島に来た渡来人もいた。ところが桜島の噴火で農作物が多量の被害を受け、北九州へ避難したら同じルーツでも年月が経っており、今更、同じ民族だと言われても、ここに受け入れる余地はないと言って追い払われた。

そこで仕方なく瀬戸内海を渡って後に大和と言われる地を移り住んだ。そこは周辺で最大の平地であったという。というようなことを安部龍太郎が書いている。

安倍さん、お元気そうな写真ですね！笑顔は美人の条件。

スマイル smiles はsとsの間にマイル(1.6km)ある最も長い単語だと玉龍で聞きました。



大石さんのモンゴルに行くは圧巻でした。素晴らしい旅、人生の良き思い出、人は思い出に行き、思い出を残して去る。

シェーン、カンバック！

善ちゃん、「薩摩燃ゆ：安部龍太郎」を読まれたでしょうか？

奄美での砂糖にまつわる過酷な搾取と調所笑左エ門についての物語りです。

調所笑左エ門については原口虎雄の良書があります。

大石さん来年ではなく再来年の龍が歳男女の大龍・玉龍育ちの者もありけりとぞいいけん…

ちょぴりお兄さんお姉さんに敬意を表します。

=====西山和宏 070-2796-487=====

○大石さん



八期会通信 11月号 受け取りました。編集 いつも ご苦労様です。

11月号も いろいろな話題 満載といった感じです。勝みなみさん 若い人の活躍

106歳 長寿 でのお別れ、御主人さまとのお別れ、同期の方のお別れといった 話題も今月は 多かったように感じます。

世の中の話題も 専守防衛、台湾問題等等 これからの日本は どうなっていくのでしょうか…

さらに、若干不安を感じるようになってきているのは 私だけでしょうか？

今月の西山レポート 読ませてもらいました。

Dollar Store(ダラー・ストア)が 躍進しているとか これは 日本の百円均一のお店と似ている様に感じます。

私も ちょっとしたものは よく利用します。最近 ほんとに いろいろな品物 価格も 百円だけで

なく 二百円、三百円 それ以上の品物も・・・ 品質も充実した物も 売られてきています。
アメリカ マーケットの 後追いのような 気がします。 以上 木場 祥雄



○大石様 皆様 配信感謝です。ふるさとだより、素晴らしい。

勝みなみプロ 活躍素晴らしい。13日は八期飲み会とか。うらやましい^^ こちら 秋の紅葉 おしまいの
ようです。

いい 新しい年をむかえられますように。 長崎 諫早 森永

○大石くん



11月号は亡くなった人々の話も多く、寂しい月でもありましたね。

しかし、一ヶ月を振り返ってみると、思っていたより皆さんいろいろ投稿があつて充実した月でもあつたよ
うに思います。

マーコさんの巻頭文に始まる諸兄の様々な話題に今更ながら八期会も歳はとつてもまだまだ捨てたものではないと
実感しました。

そして、自分が投稿した文章が出てくると、「ああ そうだったなあ、そういうこともあつか」とボヤしくなった頭で振り
返ったりしています。

それも、これも大石くんの熱意で出来上がったもので毎月感謝しかありません。

いつもありがとう。 隈元達雄

○絃子さんへ



PDF というアプリが iPad の中にダウンロードされていないと『通信』は開けません。

もしかしたら買った時から入っているかも知れません。 タップしても開かなかつたら wifi(ワイファイ)が来
てたら簡単に無料でインストール出来ます。

開けらようになったら以前の分も遡って送ってあげます。

又、八期関係のメール仲間に入ると情報共有できるので覗くだけで仲間入りされたら寂しくないかも。

件名: 八期オンライン通信第67号(11月号)と西山レポートをお届けします。

半分くらいの仲間のメールアドレス添付しますのでアドレスをタップすればメールを送ることが出来ます。

○12月10日 南郷

だからこそ人類は自分の身を守る方法を考えて生きている訳ではありませんか? 国々同士も同じで自分の国が弱



いと相手の国につけ入るすきを与える事になる

地球上に人類が誕生してから現在まで永遠に繰り返え去れてこれから先も続くと思います

だからこそ外国から攻撃🔥受けない為にはどうすれば良いか考える時期に来ていると思います。

いろんな方法がある事はわかっていますが

それにはなんと言つてもしつかりとした備えがないと交渉ごとは相手の思い通りになりやすい戦争が始まってしまう
えばルール等全く関係なくエスカレートしてしまう

そんな事になりやすいので日米同盟も大事かもしれませんが(が)先ずは人の国に過剰に頼らず自分の国をいかに
して守り備えをする事が大事だと思うけどそれには日本の武器を日本の技術力で作つてアメリカ高い武器ばかりに
頼らずに出来ばと思っています。

なんと言っても戦争を起こさせない事が大事なのでどうしたら平和を続ける事が出来るか？何とか人間の知恵を絞って考えてみたらと思いつつも他の動物に見習って共存共栄が出来れば最高だと思うけどね(ね)

12月10日12月15日

○今年のライフワークは中国スケッチ 30 作成でした。 大石ケイジ

しばらく YouTube 動画編集と日中友好関係(留学生)で忙しかった。読書休止していました。



邪馬台国から又、遣唐僧(円載、円仁、円珍、円覚)など同時代に中国唐で活動した人達のそばに戻って来ました。

昨日『悲運の円載』を読み終え、今日から読みかけていた『円仁 唐代中国への旅』(ライシャワー著)ものすごく活字が小さいのに厚い。

挑戦しています。

上手いけばあの上下の『則天武后』中古購入を読み終えたらあの当時の中国(830~860)円珍までだと 870 年頃の日本と唐朝の仏教徒事情が本からですが解けます。

西山さんのおかげで平安時代を国内からでなくよりグローバルに眺められます。

来年はどの時代に首を突っ込みますか？

縄文・弥生時代が地についていないのでそちらかなあ。

○大石さん

今年も 八期会通信、ケイジの中国スケッチ といろいろとたいへんな活動 さらに 中国 古典読書など さらには



中国との友好活動

休む暇なく 私共を 楽しませて くれました。 来年は 縄文・弥生時代にと 遡って みたいとの希望を抱いておられるようです。

期待します。日本の縄文時代から古墳時代 まだ 文字が無かった時代 形で意味を読み取ることが肝要であると 日本古代史については 神話との関連？ まだまだ、未知のことが多いようです。文字、記録も定かでないなどわからないことだらけのようです。

太平洋戦争に敗れたため、GHQ によって 本来の 日本の歴史 教育が歪まれてしまい、世界に誇れる 2683 年の日本の歴史、神武天皇以来

天皇家 126代続いているような国はほかに無いように思います。(第一代から十代までは 存在しなかったのではないかと 議論されておりますが・・・まあ 信じましょう。

ただ、耶馬大国 卑弥呼の存在については いなかったという説に 証拠物件がないという説に同意しています。)

もうすこし、若かったら 日本古代史を勉強できたのになあ・・・と思ったりしています。 もう、遅い！無理。

最後に、大石さんのいろいろなことに 好奇心を抱いておられることに 感服します。 来年も よろしく

木場 祥雄

○大石さん 西山コメント

あなたの中国旅行記は立派な著作です。素晴らしい物です。



10 年後、20 年後にはにはすっかり様子が変わっているところもあるでしょう。

いや、すでに変化しているかもしれません。

それだけあなたに書かれた旅行記は変化前の中国を知るための貴重な資料だと思います。

エドウィン・オールドファザー・ライシャワーは、漢文で書かれた円仁の旅行記

○ライシャワーは、駐日大使、ハーバード大学教授として知られている。

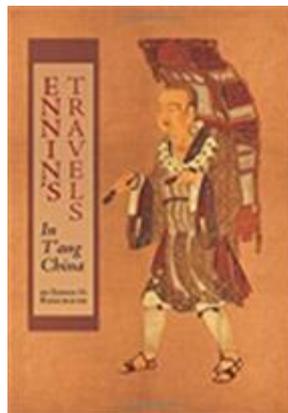
ライシャワーは、オハイオ州のオーバリン大学 (Oberlin College) を卒業後ハーバード大学大学院に進み学位を得た。

オーバリン大学は 1833 年創立の米国で最初に女性や有色人種の入学を認めた

学生数約 3,000 人という少数精鋭の名門リベラル・アーツ・カレッジです。

その卒業生である清水安三はオーバリンに因んだ校名の桜美林大学を創立した。

ライシャワーは聖職者の両親、日本生まれということが、日本仏教への関心を高め「円仁」という凄い著作をものされたと思う。



円仁をはじめ中国を訪れた遣唐使たちが中国語で会話できたようであるが

当時、文章はともかく、中国語会話を教える学校があっただろうかと不思議に思っている

外山軍治は著書「則天武后 女性と権力;中公新書」のまえがきで、「則天武后は、古今東西を通じて、女傑中の女傑であろう」と書いている。

津本陽の「則天武后」を読んで思ったことの一つは「床上手」ということであった。

=====西山和宏070-2796-4878=====

○木場さん

日本の歴史研究は今後、ますます盛んになるでしょう



なぜなら、戦国、徳川、明治維新、戦後間もなくは歴史の真実を追求することに制約がありました。

時の為政者が歴史を書きました。

その軛が、ほぼとかれた今日、今後ますます研究が進むでしょう

現在でも、はばかれることでも自由に言い、書くことができる時代が訪れると思います。

木場さん

これから 10 年経って、あのときに始めていたらと思うかもしれませんよ！

=====

西山和宏

070-2796-4878

=====

○大石さん 木場さん 西山さん



皆さんこの歳になっても前向に生きておられて素晴らしい人生ですね。

3人の文章を読んで先ずそれを感じました。

私は何もかも中途半端で、これからも何かしようと思いますが、木場さんが言われるようにもう時間がありません。薩摩の歴史に始まった日本の歴史のことも中途半端、古代史・中国の歴史はただいま入門の入口にもたどり着かない状況です。

せいぜい皆さんから刺激をいただいて、自分なりに歴史を楽しむことにします。どんどん発破をかけてください。

隈元

○今朝の新聞から気になる情報、ためになる情報 12月15日

◎薩摩藩は徳川時代になる以前は琉球などを通して盛んに海外貿易をやっていた。鎖国政策では密貿易になったけれども幕末には幕府の力が衰えたので海外貿易を進めたと思われる。それで得た富が奄美大島の黒砂糖とともに幕末の活動資金と軍備増強に寄与したと思う。記事にあるようにいろいろなものを輸出した輸入もしたことでしょう。

2 台湾問題は台湾の国内自体に複雑な問題が内在していることと思います。大陸から流れ込んできた蒋介石による独裁のしこりは未だに消えていないのでしょう。

3 高岡筋(寒天)の中では藩主の動向より家老(調所広郷)や豪商達の活

躍(一生も含めて)がおもしろい  江戸末期もですけど初期(幕開け)の島津藩の家老たちの動向も記録が生き生きとしていて興味深いものがありますね。

薩摩の贗金づくりの話も『西郷南洲顕彰館』の館長徳永和喜氏に聴きたいと思いつつまだそのままです。

台湾  は今や国全体(仕組みも)が日本と同じ体制と思います。習近平

主席個人の台湾に対する思い(本音)がどうなのか? ウクライナ  に対するプーチンの思いと重なるようだと思いつつ怖いものがある。

4 台湾は現状維持が一番良いと思っているのでアメリカや日本が余計な事をして中国を刺激しない限り習近平が台湾に攻めいる口実がないと思うけど独裁者のやることは正直わからない(わからない)

5 日本は経済的には中国と密接な関係にある訳でお互いに戦争だけは避けたいと思っているし台湾とは同じ価値観を持っている国なので日本と共に戦争だけは絶対起こしてはならない。

残念ながら今の日本に台湾と中国の間にたつて戦争を起こさせないように

話し合いを出来る政治家はいないのが残念ながらいいですね! ? 自分の国すら守れない日本なので期待するが間違いかもしれません(ね)

6 西山氏の会社(MFI)の今月版(西山レポート)は興味深く読ませてもら

た。アメリカ版  小型コンビニ(違うのは低価格商品ダイソーのような)の店舗展開がレポートから垣間見れることです。

中でも大規模展開 2 社に対して新しく登場した三番手のファイブピローの

存在である。係数表から比較しながら見てるといろいろなことが見えてきて興味深かった。

大石





鉄砲伝来後、数年で鉄砲製造が始まった。
鉄砲製造はそれほど簡単な物でしょうか？

このことは、すでに種子島に鉄砲製造に必要な基礎的な技術があったことを示唆しています。
豊富な砂鉄を使って鉄製品の生産が盛んに行われていたことを知って、ポルトガル人が、鉄砲を製造させるために種子島を訪れた。

日本で戦に鉄砲を使用させ弾薬作りの主原料であるが日本には産しない硝石の売り込みを目論んだ。硝石の需要を喚起するために鉄砲製造のノウハウを教え込んだのでしょ

う。日本産の硫黄は良質のため、火矢（ミサイル）に使用するために、中国などからの需要が多かった。

薩摩から紀州へ行くのに豊後水道は海の難所と言われている。

瀬戸内海には、潮の干満によって難所が多く、その航海には熟練を要したはずである。

薩摩から紀州へは黒潮に乗ることが便利であったはず。博多の商人も堺の商人も外国との海上交通による貿易で財をなしたのでしょ

う。地図で見る距離は陸上と海上とでは大きく異なる。10対1位の割合になると言われている。

今日でも海上交通の極めて重要と送付いただいた「堺と薩摩 利害が一致関係深める」を読んで改めて感じた。

中国は今頃になって、このことを再認識して「九段線」を引き始めた。

◎久しぶりの八期会(忘年会)開きました。

日時は12月13日(火)午後5時半



場所は天文館『吾愛人本店』

参加者：13名(4名が途中いろんな理由で不参加)

女性は3名(写真に写っています)男性は10名(写っていないのは中村隆重さん)撮影隈元さん。

◎久しぶりの八期会の集まりで、2次会も吹き飛ばぐらいの元気を1次会で出してしまいましたね。82~3歳は皆元気だ



とつくづく思うことでした。また集まりましょう。

今日は庭師が入っていましたので、何かと忙しくて、写真を送るのが遅くなりました。



私が送れる範囲はこれだけです。

送ってあげてください。

皆さん、本当に若くて元気です。まだまだいける。

隈元達雄

◎今日の新聞切抜き送るのを忘れていました。 大石



高岡筋³⁸ 宮崎市

かごしま
街道見聞記

[61]

桐野 作人



高木兼寛の生誕地
＝宮崎市高岡町の穆園広場

長いガラスケースがあり、高木関係の資料や写真を所狭しと展示してあるのに驚かされた。
また同校は高木が創立した東京慈恵会医科大学との交流もあり、同大学に毎年二名の児童が招待されたり、「高木兼寛賞」も設けられて、歴代の受賞者の

近代医学の父、高木兼寛

十年前、宮崎市高岡町の穆園^{ムロノ}を取材したとき、「ピタミンの父」と呼ばれる世界的な医師・高木兼寛(1849～1920年)の生誕地だったことを思い出して、ゆかりの地をめぐった。印象的だったのは、地元の宮崎市立穆佐小学校である。まず校門に「かねひろ先生に学ぶ」という標語が掛かっていた。許可を得て校舎に入ると、入口に

一覽表も張り出してあった。生まれ故郷は高木への尊敬と愛にあふれていると感じた。高木の生涯における足跡や功績について、「高木兼寛伝」などから紹介したい。

高木は日向国諸県郡穆佐郷の郷士の家に生まれた。十三歳で医学(蘭医)の道を目指し、十八歳で鹿児島城下の藩医・石神良策の門に入って医学の修行に入る。二十歳のとき、戊辰戦争に

城下九番隊付の医師として会津に出征している。高木の転機となったのは、明治3(1870)年、在学していた鹿児島開成学校に英医・ウィリアム・ウイリスが校長とし

て赴任したことがある。高木はウィリスから医学と英語を一年間みっちり教えられた。同5(1872)年に上京して海軍の軍医となり、海軍病院に勤務した。そして同8年、二十七歳のとき、英国留学を命じられ、ロンドンのセント・トーマス病院医学校に入学。英国人に混じりながら、一、二を競う優秀な成績を取っている。帰国後は東京海軍病院院長、同18(1885)年には海軍軍医総監に任せられた。同年、同郷の五代友厚の主治医となり、その最期を看取った。

またこの頃から、海軍兵士に蔓延する脚気の研究と対策を講じている。高木は将兵の艦船勤務の現場を視察して、階級別勤務の比率に注目したところ、将校や下士官には患者が少ないのに対して、下級兵卒に患者が多いことを統計的に確認した。そして彼らの栄養価の低い貧弱な食事に脚気の原因があるのではないかと推定した。実際、艦船ごとに栄養価の異なる食事を兵卒に与える実験で脚気の発生率を比較し、自らの仮説の正しさを実証したのである。高木のこの脚気対策がのちにピタミンの発見につながっていくことになる。高木は海軍に勤務しながらも、官立大学とは別に、民間の医学団体の必要性を痛感し、帰国直後の明治14(1881)年、医師の有志を募って、「成医会講習所」を創設、自ら会頭に就任した。これがのちの東京慈恵会医科大学へと発展する。高木の功績はまだあり、翌15年、有志共立病院を設立し、わが国初の看護学校である看護婦教育所を開設した。これは高木の留學先、セント・トーマス病院医学校にフロレンス・ナイチンゲールが設立した看護学校に発想を得ており、医師と看護婦の共働が重要だと痛感したことによる。高木は建学の精神として「病気を診ずして、病人を診よ」を掲げたことも知られる。

最後に、明治26(1888)年、高木はわが国初の医学博士の学位を授与されたことも付け加えておきたい。まさしくわが国近代医学の父といえよう。(歴史作家) 〓隔週月曜日に掲載

◎大石さん

先日はご苦労様でした。



楽しく歓談ができ良かったです。

高木兼寛のことが記されていましたね。

長崎旅行での軍艦島観光の時、海軍カレーと放送されていましたがこれも兼寛時代の産物でしょう。

兼寛についての「吉村昭」作の「白い航跡」上下2巻の単行本があります。

もし読みたい方がありましたら回し読みすればよいかと思います。

今度鹿児島に行った時にでも届けましょうか。

木佐貫



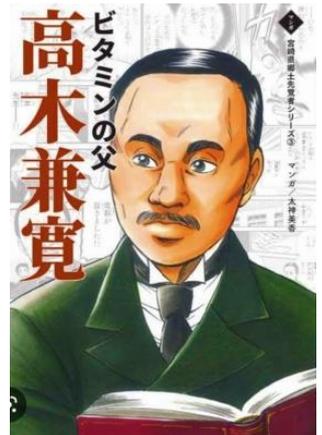
高木兼寛 - Wikipedia

表示

◎大石アンサー



高木兼寛の話は八期記念誌を発刊する時崎元さんの力作『薩摩という国』？タイトル違ったかもしれませんが、多すぎて載せられなかつたのかなあ。二部の 20 ページに載っていたので馴染みがありました。したのを QR をスマホで写すと記念誌全部見ることが出来ます👁️



◎大石さん12月21日



近代医学の父 高木 兼廣 海軍兵士の脚気の研究と対策、立派な方ですね！ 初めて読みました。

西山さんに 答えて すぐに 対応されたことも また、びっくりしています・

崎元 雄厚さんの原稿 36焼酎「大警視」 39 「薩摩藩士の対決」 読みました。

いろいろなこと たくさん 書いておられるようですが 興味をもちました。

2010に 八期会へ 投稿されたようですが 他に あれば 読むことに 興味を持ちました。

有難うございました。

木場 祥雄

◎木佐貫さんのコメント興味あります。

現在の(歴史好き)八期仲間はなかなか(回し読み)が億劫のようです。



ググって Amazon から見つけて新古品を見つけて買うのが面倒なくていいということ西山さんから教授されそれを励行しています。

吉村 昭氏ですか？

それにしても、高木男爵！

又気になる男が登場しましたね。

佐土原でしたっけ！この、佐土原が又気になる土地なんです。昔、4組だった大平博美くんが長く住んだ土地でした。又話が長くなるのでやめときます。 大石

◎12月23日

メールありがとうございます。



高木兼寛の話、まったく知りませんでした
大変立派な方だったんですね。

「最後の遣唐使」面白そうですね 注文しました。

遣唐使派遣の目的は法制度を学ぶことに加えて、

天皇の権威を高めるために、国内に仏教の教えを広め、
藤原一族の権勢を削ぐことであったようです。





ここでメールをちょっとお休みして賑やかな【八期 LINE トーク集】を載せたいと思います。
先月から、メール常連の西山さんや木場さん、南郷・本田さんなどが盛んに LINE 上で交流しています。
医学上の交信も多いようです。あるいは外交論【中国論も】も戦わせています。
時々、息抜きに、女性トークも入りますが…………… 大石編集長コメント

LINE (SNS) 交信集 (12月交信)

◎南郷善之助コメント

●本田さん僕達は 83 歳いままで色々な試練を乗り越え来年は初めて 84 歳と言う経験した事がない年を迎えます。



お互い経験した事のない病魔に取り付かれていますがこの歳になると若い頃とちがい現状と向き合い楽しく付き合っていく事が出来るようにしたいと思い、前向きに考えて頑張っていこうと思っています。

本田さんは僕とちがいしっかりと、考えを持っているので色々な趣味を生かし毎日楽しみながら頑張ってください。僕も難病に負けず頑張っていきます。お互い残りの人生を楽しく頑張っていきましょう。(ガンバレ)

◎西山コメント

●コロナはいくら注意しても注意しきれないかも知れませんね。本田さん闘病ほんとに大変ですね。私も具合の悪いの抱えておりますけれども病気は 1 人だけではすまないですよ。でも何とか頑張っていけに行きたくないと思っております。簡単に頑



張ってくださいとも言えないと思っています。ですからお大事にといいます。何があってももうすぐ新しい年が訪れます。きっと良い年になることを願っております。坐骨神経痛で 8 月から苦勞していましたがようやくなんとかかっています。--

◎本田哲郎コメント



●大石、森さん！！

① 暖かいお言葉、痛みいります。

今回は、かつて経験したことのない事に遭遇し、自分自身、ナ=バスに、なっている事を、意識しています。

彼の奥様の事などにも遭遇して、余計に落ち込んでいます。ベッドに横になり、FM や CD で、クラシックなどを聴いていますが、なかなか落ち着きません。少し弱気になつています。

なんとか、奮い立って、頑張ろうと焦っています。

大石さんの折角のお言葉ですが、家内でも、荷物の受け渡しなどで、廊下で、10 分以内の立ち話しか、許されていません。コロナ禍での規制が、激しいです。ナントカ平常心を保ちながら、治療に、励みます。

寒さが鹿児島も酷いようですね？

皆さん、風邪など引かぬように、ご自愛ください。

これからも、暇にあかせて、メルします。

② 昨日は、透析の時、針を刺す血管が細いということで、左歌手首の血管を、広げる手術を、受けました。

局部麻酔での

カテ=テルで、風船を、押し込む措置たでしたが、2時間半ほど、痛さを堪えながらの、辛い時間でした。

まだまだ、のりこえなくてはならない試練が、たちはだかつています。今日は、家内が、寒い中、バス、電車など乗り換えながら、片道2時間かけて、着替や飲物など、重い荷物を抱えて、病院まで、持ってきてくれました。感謝です。

まだ、透析に慣れないし、シャントの補正も経過観察が、必要でしょうから、いつ退院できるか、皆目わかりません。しばらくは、観念して、ゆつくりと療養します。

③ どこも行けません、

従って、免許は、必需品なのですが、こまったものです。視力回復も、大きな課題です。

その後の体調は、今のところ、順調に推移しています。

実は、心臓に水が溜まり、急な心不全を、引き起こす虞れがあるとの事てで、1年9ヶ月前に、人工透析の準備のシャントは、終えていましたが、昨日から、腎臓の数値は、それ程悪くないが、心不全の突発が懸念される事てで、透析を開始となりました。

昨日が、第一回の透析の開始でした。

同じ姿勢を保ちながらの、ベットでの辛さは、なんとか、耐えました。

後は、月、水、金曜日が、透析日となると言われています。

残り少ない人生を、ナントカ、この透析を糧にしなが、頑張ってゆきたいと、願っています。

森さん、それにしても、美味しそうなピザですね？！

残念ながら、食い損ねます。

④森さん、切符切られたとは、残念でしたね？！

鹿児島市内は、小道は、一通が、そこら中にありますものね！？

慣れない道は、お互いに、慎重に動きましょう！

大石さんは、来年が更新だとの事ですが、自分は、令和6年の1月が、更新時です。

問題は、自分は、眼が悪く、矯正視力で、今は、左眼が0.6で、右が、ナント0.1です。

これでは、更新基準に達していないので、眼科の先生にかかっていますが、先が、心配しています。

大石さんのお住まいなどは、バスなどもあり、便利でふが、我々の田舎は、車がないと、どこ

⑤ゴメンナサイで、申し訳ありませんが今日、緊急に、鹿児島市内の病院に入院しました。

依って、25日の森さん御宅での集いには出られなくなりました。危ういところで、助かっています。

◎市来龍作コメント

●八期会の皆さん、常日頃からみなみの応援ありがとう、心温まるメッセージを頂き感激しています、最終戦リコーカ



ップ残念ながら後一歩及ばずすみません、今日アメリカ🇺🇸アラバマ州に向かいました、予選通過がなん

とかなれば、アメリカツアーに臨みます、8日間競って15位位成績でしたら来年わアメリカ🇺🇸参戦します、これからも、今まで通り応援よろしくお願ひします、皆さんの応援があつてこそ今日の成績があると思ひます心に沁みる応援ありがとう。

2 長島旅行楽しそうでしたね、思い出が出来ましね、バスの利用ありがとう、素敵な仲間を持って慶ちゃん幸せ者ですね忘年会で会いましょう、楽しみです。

◎永留弘之コメント



●同期の桜🌸 久しぶりの飲み会、本当に楽しい一夜でした。LINE でも繋がりが出来てお互いの情報交換し合ひましょう。私はメールに弱くて良く分からないことが多いので、色々勉強したいと思います。

◎木場祥雄コメント

●薩摩藩は徳川時代になる以前は琉球などを通して盛んに海外貿易をやっていた。鎖国政策では密貿易になったけれども幕末には幕府の力が衰えたので海外貿易を進めたと思われる。それで得た富が奄美大島の黒砂糖とともに幕末の活動資金と軍備増強に寄与したと思う。記事にあるようにいろいろなものを輸出した輸入もしたことでしょう。

2 台湾問題は台湾の国内自体に複雑な問題が内在していることと思います。大陸から流れ込んできた蒋介石による独裁のしこりは未だに消えていないのでしょう。

3 高岡筋(寒天)の中では藩主の動向より家老(調所広郷)や豪商達の活躍(一生も含めて)がおもしろい🤔江戸末期もですけど初期(幕開け)の島津藩の家老たちの動向も記録が生き生きとしていて興味深いものがありますね。

薩摩の賈金づくりの話も『西郷南洲顕彰館』の館長徳永和喜氏に聴きたいと思いながらまだそのままです。

台湾🇹🇼は今や国全体(仕組みも)が日本と同じ体制と思います。習近平主席個人の台湾に対する思い(本音)がどうなのか? ウクライナ🇺🇦に対するプーチンの思いと重なるようだ怖いものがある。

4 台湾は現状維持が一番良いと思っているのでアメリカや日本が余計な事をして中国を刺激しない限り習近平が台湾に攻めいる口実がないと思うけど独裁者のやることは正直わからない(わからない)

5 日本は経済的には中国と密接な関係にある訳でお互いに戦争だけは避けたいと思っているし台湾とは同じ価値観を持っている国なので日本と共に戦争だけは絶対起こしてはならない。

残念ながら今の日本に台湾と中国の間にたつて戦争を起こさせないように話し合いを出来る政治家はいないのが

残念ながらいませんね!?!? 自分の国すら守れない日本なので期待するが間違いかもしれません(ね)

6 西山氏の会社(MFI)の今月版(西山レポート)は興味深く読ませてもらった。アメリカ版🇺🇸小型コンビニ(違うのは低価格商品ダイソーのような)の店舗展開がレポートから垣間見れることです。

中でも大規模展開 2 社に対して新しく登場した三番手のファイブピローの存在である。係数表から比較しながら見るといろいろなことが見えてきて興味深かった。大石

◎満山一朗メッセージよりコメント



●メールありがとうございます。全身麻酔手術と持病の神経痛で地獄をみました。

三日ですむはずが11日かかりました。

あと三ヶ月の入院生活ですのでありがとうございます。両足の神経痛の為に放射線治療は絶対に動いたらダメなので困難を極めています。

健康でないと治療は本当に大変です。ではまた。

コロナのクラスターに巻き込まれましたが何とか凌げました。

東京でマスクもせず武者修行で廻っても感染しなかったのに安全なはずの病院でとはビックリでしたが、この為に皆さんと会えるのは二週間は遅くなりそうでにつっきコロナです。

体重が一気に二キロも減り、バッティングには大痛手です。

さぞや話が弾んだことでしょうね。

うらやましい限りです。コロナの隔離はあと一週間は続きそうで孤独で淋しいです。

重症が多いのでひっそりしてます。

ご連絡ありがとうございました。

隈元さんの奥様のご冥福を祈ります。

大石さんのご尽力のお陰で八期会の皆さんは本当に良いお付き合いが出来て幸せですよ。

私はクラスター組の中ではまだ陽性で封鎖隔離されたままです。

症状的には治っている感じです。

放射線治療がまた一からやり直しになりはしないかというのが最大の心配です。

誰もこんなに長く中断した人が居ないし、医師も未知数だと思っているようです。

では皆さん良い新年をお迎え下さいね。--

◎24日 本田哲郎



そうですね？！

人間、早かれ遅かれ必ず、死は避けられない事ですから、今となつては、恬淡としているつもりです。

もう、オノコの平均寿命を超えているとですから、これからは、余録の余録と、心得ています。

ところが、今いまの事態には、バタバタ、悩んでいる。

まさに、自分でも、小心者となつている自分に気づきます。

理屈では、わかっているが、いざ、直面している事態には、オロオロしている凡人です。

いつも、家族などにも遺言らしき事も話しています。

あと

いくばくもない事は、自覚しているものの、聖人に、なれません。

ただ、自分は、あと何食の世界のオノコだから、食いは、自分が、食べたい物、あるいは、うまいと思うものしか、食べないと、はつきり、家内に申し付けてあります。

今回の透析開始はシャント後、1年9ヶ月後でしたから、先生の指示と、家内の腎臓食のお陰と理解しています。

これからは、一日おきの透析で、生活の基礎が、この固定した日程が何よりも優先しますので、これを中心にしたの、毎日と、なります。

この限定された生活を、ナントカ、自分なりに、少しでも、心、豊かに過ごす事に邁進しましょう。

皆さん、よろしくお願いします。

◎24日 LINE コメント 隈元



皆様おはようございます。

隈元達雄です。

急なお知らせですが、去る 12 月 20 日早朝、妻 香代子が急逝致しました。

葬儀は家族葬という形で一昨日済ませました。

皆様へのお知らせが遅くなりましたこととお詫び致します。

私は携帯を持たない人間ですので、これまでこのグループ LINE は香代子の携帯に登録し、その都度妻が代打ちしておりました。

今回も、次男が代わりに打ってくれてのお知らせとなります。

当面は、私がこの携帯を持つ予定ではありますが、何ぶん不慣れなことです、返信等はスムーズにはいかないと思います。

少しずつ慣れながら、これまでのご縁を大切にしていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。

◎本田コメント

全く、驚きました！奥様のすこやかなご浄土を祈りあげます。



ほんとに、突然の事で、貴兄も動転された事でしょう？

後で、伺った事ですが、自分かまさに透析開始した、同じ病院のそれも、同じ 3 階の集中治療室に奥様が、居られたとほ、まさに、驚きでした。

隈元様も、まだまだ、混乱されておられるでしょう。

どうぞ、息子さんはじめ、ご家族の助けを受けながら、心おちつかれますよう、祈り上げます。

◎南郷善之助 LINE コメント23日



僕は近頃自分の病に対し深く考え無いことにしてます。

人間確実にいつかわ亡くなる事は裂けられないので？早いか遅いかの違いだけです。本田さんは元気な内にやれることはやっておくと頑張っていたので僕も見習い今年は目標にしていた先祖の墓参りに徳之島迄行ってしまったきました。

来年は生まれ故郷の東京に行く事を目標に頑張っています。

いつお迎えが来て良いように心の準備だけはしている積もりです(が)

◎本田さん25日 LINE 交信より。

本田さん25日

南郷さんの難病とは、アスベストによる塵肺病ですか？



あれは、ほんとに、難病と聞いています。原因は、その昔、建材に含まれたアスベストに在ることは、判っているものの、その対処策や薬品などが、難しいと言われていませんか？！

難病と言われる病気に奮闘している知人で、被爆2世の方が居て、彼も時々変な症状が出て、入院を、繰り返しています。

どこかの病院の実験台になつているようです。貴兄の難病の原因は、分かっていても、其の薬などが、まだ、開発されていない難病が、あるのですね？！

不安を抱えてながらの生活、大変ですね？

知人の彼も、何が起こるか不安だと言っています。南郷さんは、散歩の運動が出来るわけで、それだけでも、身体の維持管理ができる事は、良い事になりますね？！

◎堀田マーコの独り言。23日



市来くんはね(ね)
珍しく5行位の
メールくれてね
嬉しくもあり淋しくもありとか…しっかりしなさいよ！可愛い子には旅をさせよ だつて言ったけどやっ
ぱり淋しいよね😭

行ったり来たりすれば良いでしょうよ(ね) 狭い日本いやアメリカ(アメリカ)

乗って寝てたら直ぐ(よ)私何か女の集団公文で女ばかり しゃべりドウシデ成田に着いたのよ！時差 (ほ)ケもなかった

わよ🎵ボケだからねカタカナにしたら…が

付かない！

ちょうど今来たわ

午前中なのは確かよね

◎ 本当にみな様良い顔してます(ね)

たまに会ったからかしら(?)そんな事はありません

◎ 年前は同じ部屋で同じ事を習った

仲間でしたね🎵

悪い病にも取りつかれずヨクゾここまで生き伸びて来た

仲間 もう少しは元気でいよう。

こうして飲め(る)

やっぱり同期生

いつまでも同じ年

◎ 重い病気に掛からない様にしないと

自分から捕まる人もいませんが！

今までお元気にしてらしたのに残念ですね。この急場を乗り越えたら又お元気になれるでしょう！頑張ってください(。)

◎ 今気遣きました！この頃 CM のメールが来すぎまして

鶴田氏からです

22日午後8時から

テレビ朝日 終着駅最終回に1シーンですが第一話から出ているので

呼んで頂きました

今年の仕事納めです。 転送に出来無いのでこちらで一応お知らせします！

◎ 私というより 最終回を見てください と電話がありました。ので宜しくお願いします🍀

◎ にわざわざメール有難うございます！



2 時間もあるのね

この頃 9時代に寝るのよ！寒いし

ビデオだわね🎵

○ みなみちゃんて本当にアメリカ行くのかしらね！

アノじ様は鹿児島にいますか？□

アメリカ何かに行ったとてソナニ良い事も無いかも知れないのよね
(^ー^)

○ に龍作くんはどうでも、みなみちゃんに会いに行けば良いでしょう

🎵 飛行機✈️に乗ればすぐ行けるのよ！

自分がついて試合を見守るつもりでしょうからね👉

いつまで出来るのか？□まあそれで

本望でしょうがね(^-^)/∠※。.:*.'°☆



「LPGA MEMBER」と記載されたボードを手に笑顔の勝みなみ。コミッショナーのモリー・マルコーと記念撮影 ©Getty Images



**元のオンライン通信に戻ります。 大石編集長
大石ケイジの中国スケッチ③北京彷徨(ぶらぶら)完成**

12月22日

◎何んとか『大石ケイジの中国スケッチ③北京彷徨』完成しました。

今年1年を通して続けた大石の過去帳です。



もう少し残っているので来年もぼちぼち作り続けようと思っています。

実は YouTube 動画はメインではなく、『中国ぶらり旅日記』がメインです。

こちらは下手な文章をだらだら書き連ねていますが動画以上に詳しいことは確かです。

送ってみますので適当にしてください。 大石 12月 22 日

◎大石さん

北京生まれですか、かすかな記憶をたどっての北京訪問もいいものですね



中国語が話せ、中国に多くの友人を持ち、彼らに連絡を取りながら支えながら旅は、本当に楽しいでしょうね

北京の「王府井百貨大樓」は 80 年代はじめに訪問して経営状態などを伺ったことがありました。共産主義というよりも資本主義、売上が多い人には、それに応じた報酬があり、個人の売上順位を張り出してありました。なかなか面白く読ませる楽しい文章です。

書いたものは残ります。

ありがとうございました。

◎ありがとうございます。



何時も的確なレスポンス感謝します。今朝も早くから寂しいのか、本田さんから長い電話(エンドレス)が来ましたよ。

【中国スケッチ③北京彷徨】を終えたのでホッとしています。

『八期オンライン通信』来年からは『通信を日記』にタイトル変更したいと思います。



斯波紘子(静岡在)さんも娘さんを通してiPadによるLINE交信が出来るようになりました。

交信は出来なくても八期の懐かしい名前の投稿(コメント)を受け取るだけでも楽しいとおもっています。

ぼくは在校時代は同級生間とは女子は勿論のこと男性群ともあまり(深く)親しくなかったので罪滅ぼしのつもりで橋渡し役を演じています。

6, 7組の女性(西岡用子・松本節子)などLINEトークも会話も初めての人が多いのですが、友達の友達で同級生は気安い所がいいですね。



SNSをうまく使って(5媒体ほど)それぞれと繋がっています。

おかげで、誰が入院した、コロナに罹った、介護施設に誰が入っている・・・など本人たちからも連絡があったりして今年も医者と学校の教師の役をしたりしています。

そのうち自分もどうなるか? 分からない齢を重ねていますが、「他人のことを考えていると自分のことを忘れられて」かえっていいのかも知れません。

最近、メール文章は読み返さないくせが付きまして。おかしい所があったらゴメンナサイ。

2023年賀状は意識して元旦着には出さないでみたいと思います。その分、LINE年賀と他のSNS年賀(ウイチャット・メッセージなど)で替えます。

◎大石さん



大石ケイジの中国 ぶらぶら日記 ビデオ版 見ました。

<https://youtu.be/uBRXJqeRRxc>

大石さんは 北京生まれ 郷愁を感じながら 旅ですね。

中国友好 親善 活動されておられるのも よくわかりました。

今回は 王府井、八達嶺、万里の長城、明の十三陵、故宮博物館など わたくしも 何回か 行ったことあるので懐かしく 読んだり、見たりしました。

特に 友誼商店 これも懐かしい思いであります。1980年代は まだ 自由に ブラブラすることも ままならない時代 公司へ織物の商談に北京に出張しますと、商談は 公司の担当者は必ず 二人 同席します。(お互い同士がチェックし合うという時代でした)

北京から上海への移動も 許可を取らねば行けない時代でした。(簡単に移動が出来なさない)

買い物は ドルで買える友誼商店が主体でした。ちょっとした 品物を おみあげに買ったことを思い出します。

今後 あと 十回ぐらいの紀行文を考えておられるようですが まあ ゆっくりでよろしいですので 期待しております。

木場 祥雄

◎木場さん

2人同席、そのうちの1人は共産党員ではなかったでしょうか?



80年代初め、百貨店、食品工場、頤和園などを訪れる視察団にも2人同行でした

1人が日本語を話せ、もう1人は共産党員で、毎晩、党にその日の行動を報告していると聞きました。

それでも、百貨店や食品工場の訪問では、「熱烈歓迎」と書かれたものがあり、非常に友好的でした。

2000年代、観光旅行では買い物をさせるスケジュールでした。

年寄りの「昔はよかった」です。

大石さんは、自由に飛び回れる現代を楽しまれたようでいじめも楽しい思い出ありということのようです。

◎西山さん

返信ありがとうございます。



二人の内 一人は 共産党員 なるほど 今ですと 理解できますが 当時は 全然 中国および 共産党がどのような位置づけかも知らないで 紡織品会社と商売していました。

一億人の共産党員が 中国を支配し、日本から進出企業にも 行政 省、市町村に必ず 共産党書記が 配置され、この人が 省長、市長など行政長より 上位にあり、今後、共産党から派遣されている 書記が 経営面まで口出ししてくる・・・という話も聞かれ、経営方針にまで口出しし、企業が 儲からなくなって 撤退するような事態に仕向け、何にも 日本へ持ち帰ることも出来ず、損金のみが残ったままで 日本へ帰るといったことにならないか・・・と 気掛かりです。

金だけで 済めばよいですが 人質を取られてしまうということにならねばよいが・・・と 危惧しています。

また、外国企業、外国人は土地を所有することできず、60年間の賃貸です。

ここで、難癖付けられ、更新しないということになれば、これも 残したままで 撤退・・・という リスクを承知の上で 企業進出しております。

その間 しっかり 儲け 投資分は回収できたということになれば、大成功ですが はたして どれぐらいの企業がありますことやら・・・これも 気がかりです。

(もう、現役を退いてから 20年以上も経過していますので ケセラセラ どうにでもなれ！という心境にあります。)

今後 中国との関係は どうなることでしょうか・・・一方的で 話し合いが うまくできないということが 最大の問題点と思われれます。

(国会議員の中に ハニートラップにひっかり、秘密情報が 取られてしまっているようなことになってしまい、国として、手の打ちようがない、いわれるままになってしまうとだけは避けたいと思っています。)

最後に 出向した 進出企業に 共産党員が社員の中に おりましたが 優秀でした。

西山さんは ほんとに いろいろなことをご存じで、私も ついつい、当時を振り返り また、中国企業に 定年前まで、出向した経験から だらだら・・・と書いてしまいました。 木場 祥雄

◎12月23日 西山

中国の最近の白紙を掲げてのデモ、習近平批判には驚いています



習近平が寛容になったのか、弱くなったのか？

2000年に家内同行で瀋陽・大連を訪れた時、ガイドは1人でした 会社で偉い人はどうしている？と問いかけて聞くと

朝はゆっくり出社して、お茶を飲みながら新聞を読んでいるとのことでした。

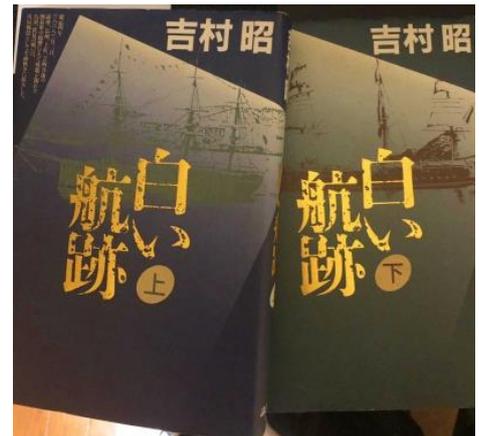
◎12月25日西山レポートをお送りします。



西山レポートをお送りします。よいお年をお迎えください。

=====西山和宏

注:『西山レポート』は PDF 添付します。



◎西山レポート有難うございます。

とうとう1週間を切りましたね。



鹿児島についてがあったので、と指宿の木佐貫さんが単行本上下家の近くまで届てくれました。

吉村昭の【白い航跡】これは、玉ねぎ男爵こと高木兼寛のお話らしいです。

則天武后も遣唐使の本も未だなのに大変です。

詠み終えたら送りましょうか？もっとも、例の Amazon 中古を観たら安かったですけど……

交換に彼も一緒に佐世保に行った時外人バーで僕がホステスに貰ったアメリカ水兵が置いて行ったらしい帽子がゴルフ用に木佐貫君が欲しい欲しいと会うたびに言っていたので差し上げました。

ちなみに西山さんは、柴田君が被っていたのを観たことがあると思いますが。

写真は LINE でお見せします。

来年もたのしい交信を続けられると、いいですね。

年賀状はLINE年賀になります。

大石

◎西山アンサー

おはようございます



メールありがとうございます。

私は、目下、安部龍太郎の作品を次々読んでいます
新しい発見が」あり納得できることが多いです

濡れ場の表現も素晴らしい。

当代抜群の作家、もう文豪と呼んでもよいと思います。

当分、吉村昭「白い航跡」までは目が届きません。

私はゴルフをしませんでした。



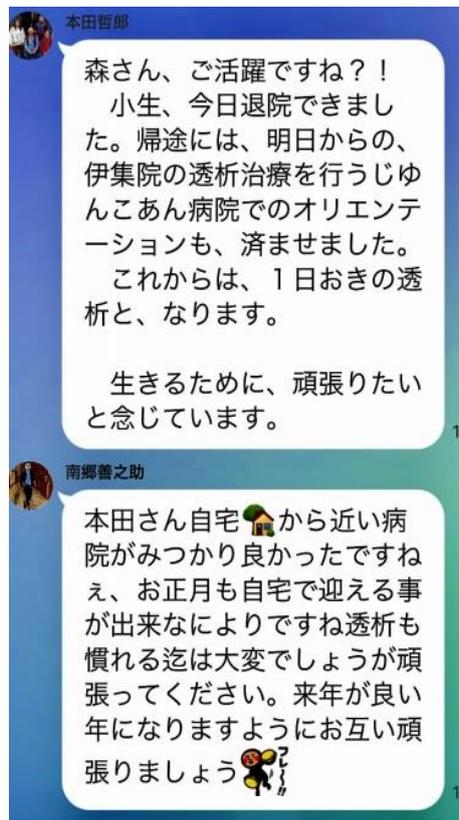
柴田君の帽子、記憶にありません。

最近ではテレビを観ることもなくパソコンと読書だけ本は本当にいいですね

来年も「八期通信」の維持をよろしく願いいたします。

◎LINE 交信を少し。

後半は今年も活躍しました『勝 みなみ』



ゴルフ 日本女子オープン 勝みなみ 大会連覇 2連覇は史上3人目

2022年10月2日 18時58分



女子ゴルフの日本一を決める日本女子オープンは最終ラウンドが行われ、3位から出た24歳の勝みなみ選手がスコアを4つ伸ばし通算3アンダーとして逆転で大会連覇を果たしました。この大会での2連覇は史上3人目で、勝選手はツアー通算8勝目です。

ゴルフの国内メジャー大会、日本女子オープンは2日、千葉県野田市で最終ラウンドが行われました。

トップと3打差の1オーバー、3位から出た勝選手は前半、いずれもパーフォーの3番と5番でパーディーを奪うと7番からは3連続パーディーとして、1つおとの最終組で回るこの日単

22:34

勝選手、シン選手ともに14番までにボギーを2つたたきパーフォーの17番を先に迎えた勝選手が第2打でピン近くにつけてパーディーを奪ったのに対し、シン選手はティーショットをバンカーに入れたうえに第2打もうまく出すことができずボギーとしました。

そして2打差で迎えた最終、パーファイブの18番、勝選手が先にパーとしてホールアウトすると、シン選手はグリーン周りからイーグルを狙いましたが外れ、勝選手の逆転での大会連覇が決まりました。

勝選手はこの日、パーディー6つ、ボギー2つでスコアを4つ伸ばし通算3アンダー、2位のシン選手はこの日イーブンパーで通算2アンダーでした。

この大会での2連覇は、樋口久子さん、畑岡奈紗選手に次ぐ史上3人目の快挙で、勝選手はツアー通算8勝目です。

3位には通算イーブンパーで、西村優菜選手、山下美夢有選手、吉田優利選手の3人が入りました。

また、ことし8月の全米女子アマチュア選手権で日本選手として37年ぶりに優勝した17歳の高校2年生、馬場咲希選手はこの日、パーディー3つ、ボギー4つで通算5オーバーとし、アマチュアではトップの11位で迎える国内メ





キャディを務めた母・久美さん（左）と歩く勝みなみ



LINE



来季の米ツアー出場権を獲得し帰国した勝みなみ。来年の漢字を「勝」と書き込んだ（株式会社 産経デジタル）

女子ゴルフの勝みなみが来季から主戦場を米ツアーに移すことになった。日本ツアーの今季最終戦「JLPGAツアー選手権リコー杯」の翌日に渡米し、米アラバマ州で行われた最終予選会（Qシリーズ）を5位で通過。メンバーカードが与えられる45位以内をクリアし、来季の前半戦にほぼ出場できる20位以内も楽々と突破した。

世界各国から100人が出場し、12月2日から2週に渡って実施されたQシリーズは8日間144ホールの長丁場。強行日程&慣れない米国での戦いに、勝は母・久美さんにバッグを担いでもらった。初めて回るコース、言葉の壁、約1年半ぶりにキャディーを務める久美さんの体力的な問題...。「大丈夫かな?」と思っていた母娘タッグだったが、勝も、久美さんも見事な完走だった。

元小学校の教員だった久美さんは、勝が高校に入学する前の2014年3月に教職を辞した。「プロゴルファーになりたい」と将来の目標を決めた娘を全力で支えるための決断だった。勝は鹿児島高に入学した直後の同年4月に「KKT杯バンテリンレディス」で、15歳293日の史上最年少優勝を達成。そのときに取材した久美さんは「仕事と娘をてんびんにかけていけないと思って、教師をやめた。これからもサポートしていきたい」と話していた。当時47歳。一大決心だったと思うが、その8年後に米国で娘のバッグを担いでいる自分の姿は、さすがに想像もできなかつたと思

勝みなみ、来季は米ツアー主戦場に 母娘タッグが見てみたい

ゴルフは、ジュニアがプロを目指そうとしたときには、家族や周囲の協力が不可欠な競技だ。まず、コースや練習場の送り迎えには車がいる。コーチがいたり、学校の部活動などならば、少しは負担も軽くなるかもしれないが、勝はこれまで一度もコーチについたことがなく、高校にゴルフ部はなかった。久美さんと同じく教員だった父・秀樹さんは当時、与論島の小学校に単身赴任中。勝には母しかいなかった。

以来、母と子は常に一緒だった。ゴルフ経験のほとんどない久美さんが初めてキャディーをやったのは、史上最年少Vから約半年後の「日本女子オープン」。そのときは「知らない間に決まっていました。『やろうか』ではなくて『やるから』でした」という勝のコメントで記事を書いた。勝が一番心配したのは同伴競技者の迷惑になるかもしれないこと。そして、「ちゃんとバンカーをならしてくれるかな」だったが、逆転の発想で「バンカーにいれなきゃいい。その意識がいいかも」と笑った。

注目度アップで緊張していると思っていた久美さんも「普段より5ミリ化粧を厚くします」とジョークを飛ばしていた。2人のおおらかな性格は今

